

重野桂二追悼展

— 雪国を愛して —

2022年

10月7日[金]～11月30日[水]

協力：十日町市芸術協会

- 開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）
- 休館日：火曜日
- 入館料：一般500円、小・中学生200円 ※団体（20名以上）各50円引き
- ※障がい者手帳（ミライロID含む）提示で各100円引き
- ※「大地の芸術祭パスポート」提示で各50円引き（割引併用は不可）

重野桂二（里）外観画 1997.0.

星と森の詩美術館

〒948-0101 新潟県十日町市稲葉1099-1
TEL 025-752-7202 FAX 025-752-7203
<http://www.hoshi-uta-m.jp>

重野桂二 追悼展 — 雪国を愛して —



《雪・木 7》木版画 1973頃

山に、川に、里に、降り続ける白い雪。馴染み深い風景とともに繊細に表現されたその雪は、自然とこの妻有地域独特の湿り気を多く含んだ雪を想像させます。

重野桂二は1966（昭和41）年、十日町市公民館に開設された「公民館版画教室」で、木版画家 星襄一（1913-79）の指導を受けました。これを機に、重野はそれまで取り組んでいた水彩画や油彩画には目もくれず、木版画の世界に没頭していったといえます。

星が指導した版画教室は翌年も続き、2年終了した1968（昭和43）年に「十日町版画会」として独立しました。そして、今度は重野が指導者として十日町の版画を盛り上げていく立場となったのです。この年の秋に開催された第1回十日町市展では版画部門の準備員と審査員を務め、翌年には新潟県展版画部門創設の申請にも名を連ねるなど、制作はもとより版画の普及活動にも力を注ぎました。中魚沼郡市内では十日町市公民館をはじめ、津南・中里・川西・大井田・川治・下条の各公民館や、十日町市身体障がい者福祉センター等多くの版画教室で指導にあたりました。いい所を見つけて褒めて伸ばすという指導は、生徒達にも好評だったといえます。やがて、生徒を卒業した教え子たちと共に地元紙に版画作品を連載するなど、徐々に地元の風景を描くことが増えていきました。

豪雪地帯と呼ばれる妻有地域で暮らすなかで、重野自身は「雪を恨むでもなく、雪と闘う意識でもなく、穏やかな雪と共に」と制作する上での真情を記しています。小さな結晶が集まり、綿のようにふわりふわりと舞い降りてくる…そんな雪の様子を版画で如何に表現するか？重野は試行錯誤を重ねます。こうして到達した独自の手法を用いて1990（平成2）年、満を持して応募した第31回日本版画会展で、《里》が一般公募では最高賞の東京都知事賞を受賞します。着物の産地である十日町に生まれ、着物に携わってきた経験を活かした縦長の特異な構図は、のちに重野のトレードマークとなりました。そしてこの後僅か5年で日本版画会の会友、準会員、会員へと駆け上がったのです。

重野は当時開催した個展の案内状に次のように記しています。「10年くらい、雪と川を前面に妻有の里を描いてきました。日本一の信濃川に雪がどンドン降りかかっています。雪の向こうには民家がひっそりとたたずみ、人々の生活が続けられています。造形的な面白さ以前に、あるがままの姿のその重さ、確かさに心打たれて、作品にしてみました。」

雪国に生きる者の目線で、雪国を描き続けた重野の足跡をたどります。



《朝》木版画 1994 [十日町市所蔵]

2022年

10月7日[金] - 11月30日[水]



《雪の里》木版画 1986

重野 桂二 (しげの・けいじ)

- 1934 10月30日 新潟県十日町市に生まれる
- 1954 水彩画を始める
- 1956 油彩画を完結 島田和夫から学ぶ
- 1958 十日町市の有志8人で「美術協会」設立
- 1959 第33回国展に水彩画初出品、入選（東京都美術館）
- 第47回日本水彩展に初出品、入選（東京都美術館）
- 1961 有志で「十日町美術振興会」設立
- 1966 十日町市公民館で版画教室が開講され、木版画家 星襄一の指導を受ける
- 十日町市公民館発行の「20歳の記録」の表紙に版画作品掲載（～'73）
- 1968 公民館版画教室が「十日町版画会」として独立、会員となる
- 十日町市公民館主催「星襄一を中心とする版画展」出品（十日町市福祉会館）
- 第1回十日町市展開催、発起人の一人となる
- 1969 新潟県展版画部門創設の申請に名前を連ねる
- 1970 第25回新潟県展に版画部門が新設され出品、入選（新潟県民会館）'72～'74も
- 1971 第45回国展に版画作品出品、入選（東京都美術館）～'73まで毎年出品
- 1975 個展「版画きもの展」開催（千代田/京都市）'76も開催
- 1982 新潟県立十日町実業高校 現 総合高校 で工業美術の非常勤講師を務める（～'97）
- 1988 指導していた7版画教室合同の「都市版画交流展」開催（十日町市市民会館ほか）
- 1989 雑誌「別冊ジュノン 美しいきもの百科」（主婦と生活社）に版を利用したきもの掲載
- 1990 十日町市芸術協合理事（版画部門）となる（～'99）
- 第31回日本版画会展に初出品（東京都知事賞）（東京都美術館）～'96まで毎年出品
- 日本版画会新潟支部設立に参加
- 1991 日本版画会新潟支部「第1回越後・佐渡版画展」出品（新潟市美術館市民ギャラリー）
- 第32回日本版画会展に出品、会友推挙（東京都美術館）
- 1992 個展「重野桂二 作品展」開催（きもの絵巻館/十日町市）
- 1993 第34回日本版画会に出品、準会員推挙（東京都美術館）
- 1994 第35回日本版画会に出品、会員推挙（東京都美術館）
- 1995 日本版画会中国杭州展に出品、杭州画院が2点収蔵（杭州画院/中国）
- 個展開催（川西総合体育館、Uモール/十日町市）
- 第36回日本版画会展に出品【会員賞】（東京都美術館）
- 交通事故で重傷を負う
- 2000 伊藤卓著『もらってうれいし木版画の年賀状』（日貿出版）に作品掲載
- 2008 個展開催（十日町情報館ギャラリー）～'11まで毎年開催
- 2014 第55回日本版画会展に出品（東京都美術館）～'19まで毎年出品
- 2021 3月20日 逝去（満86歳）



《楼》木版画 1995

星と森の詩美術館

◇ 開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）
 ◇ 休館日：火曜日
 ◇ 入館料：一般500円、小・中学生200円



〒948-0101新潟県十日町市稲葉1099-1 TEL 025-752-7202 FAX 025-752-7203 <http://www.hoshi-uta-m.jp>

【交通アクセス】 ◆ JR飯山線・ほくほく線「十日町駅」より車で10分

- 関越自動車道「越後川口IC」より R117経由25分
- 北陸自動車道「柏崎IC」より R252経由50分
- 関越自動車道「六日町IC」より R253経由35分
- 北陸自動車道「上越IC」より R253経由70分

